



## 新 ALT の ジョシュア・ロジャーソン先生を ご紹介します。

Hello, my name is Joshua Rogerson. I am the new ALT (English teacher) for the town of Yamato. I am from North Carolina in America. I am 25 years old. I majored in East Asian History at the University of Dayton in Ohio, and then at the University of Washington in Seattle I majored in Japan Studies. Japan Studies is the study of Japanese language, history, politics, and culture. I like playing golf, and watching movies. I want to learn to cook Japanese food. I can speak 5 languages: English, Spanish, Japanese, Chinese, and Italian. This is my first time coming to Japan and it is also my first job. I want to teach English and

share my experiences but I also want to improve my Japanese and learn more about Japan. I am happy to be here in beautiful Yamato and I look forward to meeting more members of the community. Please say hello to me in English or in Japanese if you see me around town.

初めまして、ジョシュア・ロジャーソンと申します。25歳です。

山都町の新しいALTの先生（英語の先生）として、アメリカのノースカロライナ州から来ました。

山都町で英語や海外の文化、私の経験等たくさんのごことを授業で教えたいと思います。

私はオハイオ州のデイトン大学で東アジアの歴史を専攻し勉強しました。その後、シアトルのワシントン大学で大学院生として、日本研究を専門に勉強しました。日本研究とは日本語や日本の歴史、政治、文化を学ぶことです。

私の趣味は、ゴルフや映画です。最近では和食の作り方を習いたいです。

私は英語、スペイン語、日本語、中国語、イタリア語と5カ国の言語を勉強しました。

でも、もっと日本語や日本のいろんなことを勉強したいです。

山都町に来て本当に良かったと思います。町民の皆さんと会うことが楽しみです。私を見かけたら、英語でも日本語でもいいので、ぜひお話ししましょう。

## 高齢者叙勲（旭日単光章）受章 梅田 隆幸さん（菅）

9月24日、町長から叙勲が伝達されました。

この叙勲は、長年の地方自治功勞に対して今上天皇から授与されるもので、梅田さんは昭和50年4月に矢部町議会議員に初当選以来、平成9年9月まで、通算5期20年に渡り在職され、経済常任委員会委員長、建設常任委員会委員長、総務常任委員会副委員長を歴任されるなど、町の発展に大きく貢献されました。



## 山都町表彰

11月3日、本町の町政の発展及び町民の福祉の増進に寄与し、その功績が顕著な方に対して、これまでの功績をたたえるために表彰を行いました。

### 故 田上 チエコさん(柏)

29年(S58～H23)の長きに亘り社会福祉活動に取り組み、町の福祉行政の礎を担われました。



※菅原さん代理受領

### 坂田 弘明さん(田吉)

18年(H9～H27)の長きに亘り保護司として犯罪予防のための地域活動等に取り組んでこられました。



### 正宗 末廣さん(北中島)

18年(H9～)の長きに亘りボランティアで地域の道路の清掃等に取り組まれています。



※正宗さんご夫妻

## 山都町の名木【第5回】 米生のイチョウ

〔樹高〕約23.1m 〔幹囲〕約5.9m 〔樹種〕イチョウ科イチョウ属  
〔指定等〕なし  
〔管理者〕米生地区

町内には、人家の近くにイチョウの名木が多く残っていますが、そのことは古くから暮らしと密接に関わっていたことを示しています。今回は、清和地区米生の集落を見下ろす丘に位置するイチョウをご紹介します。

このイチョウは、1921年（大正10）頃に伐採された根株から再び芽を出したもので<sup>(注)</sup>、その生命力の強さの一端を垣間見せています。イチョウは繁殖が容易でかつ生長が早いため、庭木や街路樹として植栽されており、同時に種子であるギンナンは、食用として用いられるなど、比較的身近な存在だったといえます。また、イチョウは、<sup>まいた</sup> 俎板として利用される事例をよく伺いますが、米生のイチョウも平成のはじめ頃に、剪定した枝を俎板にして30戸余りの家庭に配布されたとのこと<sup>(注)</sup>です。自然と身近な暮らしが現代もなお息づいている山都町ならではの事例といえるでしょう。

〔参考文献〕1996 平井 信二『木の百科-解説編-』朝倉書店

〔注〕九州ハイランド活性化協議会「No.28」『山都町巨樹調査票』

※米生区長 大塚憲一さんにご協力いただきました。

